



森の息吹

No.150 10月号
2018. 9月26日発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

9月の活動 福祉祭りでバザー大成功・植栽樹種の調査結果は

まず初めに、この度の胆振東部地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された方々の1日も早い復興を願います。

9月1日(土) 当別町社会福祉ふれあい祭り 天候 晴れ 参加者 10名
今年もバードコールやシイタケのほだ木などの販売を行いました。

去年に引き続きYさん JUNIOR が持ち前の饒舌を發揮して、ほぼ完売となりました。クラフト細工の作品づくりと販売では小学生から大人までマイ箸、ネームプレートのほか新商品マイしゃもじ・へら作りを行い、こちらも完売しました。なお、売り上げは去年の倍近く10410円でした。



9月2日(日) 「弁華別協働の森」本年度の植栽木の本数の調査 参加者 11名
植栽地で17年度18年度に植樹をした全樹木の本数と種類をモニタリング調査しました。



また、昨年10月に播種と山引き苗を植え付けた苗畑の冬越し状況をこれも本数と種別をモニタリング調査しました。詳しくは別紙参照



10月の活動案内 大幅な変更がありますのでご注意ください

木に触れて
林で遊び
森と育つ

10月7日(日)

内容 「弁華別協働の森」 意見交流会と懇談会
集合場所 (株)キョウドウ事務所 会議室
時間 10:00までに直接上記に場所に集合して下さい 別紙参照
10時~12時 意見交流会 12:00~13:30 昼食を兼ねての懇談会

10月14日(日)

※炭焼き研修を変更しチェーンソーの実技研修といたします
内容 苫小牧「和みの森」での間伐作業~新山川草木との協働作業です
集合時間など詳しくは後日お知らせいたします



事務局より 活動計画の一部訂正とお詫び

9月17日に予定しておりましたキノコの観察会は中止いたしました。一部会員に連絡が伝わらずご迷惑をおかけしました。また、10月に予定しております炭焼き研修も今年中止といたします。いずれもこの度の地震の影響を考慮しました。 ご了承下さい。 がんばろう北海道

九月を過ぎると大雪山あたりでは初雪の便りが聞こえて来る季節ですが
今年は八月に初雪の便り。皆さん覚えていますか？

なんでも初冠雪というのは麓から山頂を見上げて山頂部分に雪が白く観測出来るか
出来ないかで決まるらしいですが、ロープウェイ駅付近や登山道のニュース映像では
まぎれもない積雪の状態です。冬将軍様の偵察隊が顔を見せた感がありました。

時候の話題というのは会話の枕ことばにもなり皆さんも何気にお話しされているか
と思いますが、まさに最近のこのご挨拶がかなり重い話題へと発展していきます。
随分と以前から気候が変わってきたとか天候不順とかいわれて“異常気象”の四文字熟語。
しかしこれももはや死語なのではないでしょうか？(今や！：異常気象＝普通の気象)と思わせる
今年の天候のありようは驚くばかりです。

普通に日が差せば、「今日はいい天気ですね！」で済んでいたご挨拶が、「暑いですね！」
を通り越して熱中症に気を付けてとか、水分補給はしっかりととか、お年寄りには外出を控え
ましょう。といったニュースが流れる猛暑な一日。少し風が吹けば竜巻を起し屋根を
吹き飛ばし。やや、雨模様なんて穏やかな雨の降り方はどこに行ってしまった感のある
集中ゲリラ豪雨。増水した川の氾濫による浸水や流出災害、永年住み慣れた土地や住まい
が被害をうけてしまう。いまや北海道まで到達する台風もかなり
強めの温帯低気圧ではなくて台風そのものがやって来てしまうようにな
りましたね。そして追い打ちをかけるように起きた地震。

震度7強の揺れは広範囲に山の斜面を崩して地域に取り返しの
つかない大きな被害を与えています。札幌に於いても液状化現象に
よる地盤沈下で傾く家や波打つようになった道路などがニュースで
報道されていました。皆さんは大丈夫でしたか？

地震多発地帯の釧路からやってきて30年が経ち、多少の揺れは
大丈夫と思っていましたが安全な場所はないと思い知らされました。

震災後の数日、穏やかな陽気はすっかり秋を感じさせる空気に包まれています。
このまま穏やかな秋の日が続き、あっ！という間にやって来るであろう冬。

暴風雪、大雪の中に起きる生活に関わる障害。未明の大地震。追い打ちをかけるように
起きる大停電。一度にこんな事態に陥る事は想像もしたくはありません。

寒いのは仕方が無いにしてもある程度の備えはホントにしておきたいですね。

「降りましたね」で普通に除雪、屋根の雪下ろし、程よい深雪で楽しいスキー。
今年の冬が過剰に強力な石狩湾低気圧の軍勢を引き連れた冬将軍で無い事を
願っています。

